

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		基幹水利施設管理事業負担金						事業区分		担当			
政策体系	政策体系上の位置付け							新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	040102000840		
	総合計画の施策名		0401		農林業の振興					所属課	050101		
	政策名		04		活力ある産業のまちづくり						農林課		
	施策名		01		農林業の振興					課長名			
	手段名		02		②農業の効率化推進					グループ	農林G		
												担当者名	
財務会計上の位置付け								事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（平成17年度～）				
	01	06	01	05	05	00	霞ヶ浦用水事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入				
法令根拠													

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	【事務事業の内容】 国営霞ヶ浦用水事業によって、造成された施設（八郷揚水機場・長者池揚水機場・明石揚水機場・東山田揚水機場）の管理事業の負担金支払事務。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 負担金の支払請求により伝票の処理。
	【担当者が行う業務の手順】 負担金の支払請求により伝票の処理。 【事業費の内訳】 国営霞ヶ浦用基幹水利施設管理事業負担金	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	04年度 （実績）	05年度 （実績）	06年度 （計画）	07年度 （目標）	08年度 （目標）
霞ヶ浦用水事業受益者	農業水利事業	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	04年度 （実績）	05年度 （実績）	06年度 （計画）	07年度 （目標）	08年度 （目標）
霞ヶ浦用水事業の適正かつ効率的な運営を確保し、農家の利益増進を図る	通水面積	ha	2,143.00	2,143.00	2,143.00	2,143.00	2,143.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	04年度 （実績）	05年度 （実績）	06年度 （計画）	07年度 （目標）	08年度 （目標）
農業用水の安定的な供給及び農村の生活環境の改善を推進し、活力ある豊かな農村を作り農業経営の安定を図る。	事業負担金	千円	4,254.00	4,615.00	5,871.00	5,871.00	5,871.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	4,254	4,615	5,871		
			事業費計（A）	千円	4,254	4,615	5,871		
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)				06年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	4,615			18 負担金補助及び交付金	5,871		
			合 計	4,615			合 計	5,871

(4) 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
	負担金の支払請求により伝票の処理。	負担金の支払請求により伝票の処理。	負担金の支払請求により伝票の処理。

事務事業名	基幹水利施設管理事業負担金	事務事業No.	40102000840	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成3年事業を開始され土地改良区の円滑な運営を図っている。電気料が値上がりして事業費が増額となっている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 農地の安全や農業経営の安定化が図られる
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 霞ヶ浦用水事業は公共性が高く、国、茨城県の事業としても実施されている
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 霞ヶ浦用水事業の継続
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 土地改良各種事業の継続が困難になる
有 効 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 特になし
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 土地改良各種事業の継続が困難になる
効 率 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 受益者3900円/10aあたりとなっており公平である。
公 平 性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	国営霞ヶ浦用水事業によって造成された施設の管理事業の負担金支払事務のみであるため、総括についても変わりはない。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○																	
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ☒ ⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	